

## タウンミーティング 議事要約

テーマ：市川市の子育て支援について

日時：平成30年5月27日（日）午後1時～2時30分

場所：行徳公民館 レクリエーションホール

参加者：約120人

### <1>市川市の公園について

**参加者**：市川市に公園を増やし、遊具に関しても充実を図ってほしい。

**市長**：大きな公園を作る場所は限られているため、できるだけいろいろな方に楽しんでもらえるような計画を検討している。また、遊具についても今後検討していく。

### <2>保育園の利用について

**参加者**：0～2歳の施設の拡充を急いでほしい。また、育休中の保育園利用が2歳になるまでという制限をなくす、月齢で不利になるような制限をなくすような試みをしてほしい。

**市長**：柔軟に対応できるよう仕組みを改めていきたい。

### <3>小学校にかかる費用について

**参加者**：小学校は、給食費や積立金、学級費など、費用がものすごくかかる。教材も保護者負担となっているが、東京都内では無償で配布していると聞いている。公立小学校なので、市で負担すべきだと思う。保護者の金銭的負担を減らせるように検討してほしい。

また、給食費等の支払いは、子どもがランドセルに入れて学校に持っていく。現金で集金して手作業でPTAが集計しているので、児童の安全や保護者負担の軽減のためにも口座振替にしてほしい。

**市長**：教育費の負担については議論の余地があるが、教育費の負担を軽減するために、例えば、制服などはリサイクルすることもできる。リサイクルすることで、子どもたちにも環境のことやリサイクルのことを意識してもらうこともできると思う。他にも様々な取り組みをすることにより、保護者の負担を軽減していきたい。

また、集金袋に入れて児童がお金を学校に持っていくことについては、SNSを活用して集金する等、いろいろな方法があるので、児童の安全面や保護者の負担を減らせるよう検討していきたい。

### <4>心の悩みを打ち明けるポストの設置について

**参加者**：子どもが心の悩みを打ち明けるポストを置いてほしい。コンビニに子どもポストを作る等、子どもの声を取り入れた子育て支援をお願いしたい。

**市長**：子どもの声を地域の大人が受け止めて、心の叫びを聞いているという姿勢を示すこ

とはとても大事であり、また市川市全体で取り組んでいることを示せば、子どもに優しい、子育てしやすい町へとつながっていく。実現に向けて努力をしていく。

#### <5>産後1年以内の支援、LINEの活用、子育て支援について

**参加者：**行政の産後1年以内の支援については、貧困やシングルに偏りがちである。児童虐待はどの家庭でも起こり得るので、幅広い家庭をサポートしてほしい。

LINEの活用はいいが、受け手の立場に立った分かりやすい発信が必要。市の窓口では子育て中の人に寄り添った受け答えができるよう教育をしていく必要がある。

**市長：**産後1年以内のケアについて、とても重要なテーマである、持ち帰り検討したい。また虐待防止について、皆様のご家庭で子どもの健全育成をしていただける環境作りを、工夫していかなければならない。

広報・SNSの使用の仕方については、今後利用しやすいよう検討していく。

#### <6>待機児童のフォローについて

**参加者：**情報の提供方法や共有化が不十分と感じており、改善してほしい。

**市長：**情報伝達をはじめ、不十分な点については改善すべき。また市の公式Webサイトについても古くなり使い勝手が悪い部分があり、なるべく早く改めていきたい。

#### <7>社会福祉協議会の学習支援の借入れについて

**参加者：**大学進学のための社会福祉協議会の借入れを利用しようとしているが、説明している内容に誤りがある。市川市として、スムーズに借りられるようにしてほしい。

**市長：**社会福祉協議会にこのようなご指摘があったということを伝える。

#### <8>放課後の校庭使用について

**参加者：**放課後に学校の校庭で遊ばせてほしい

**市長：**既に検討はしていますが、ボール遊びができる場所が少ないので、学校と協議して進めていきたい。

#### <9>保育園整備について

**参加者：**待機児童解消のために、まず小規模のものを駅周辺など利便性の高い地域につくっていくとのことだが、保育の質を高めるためには既存の保育園へのアクセスを良くする等大きい保育園を活用すべきではないか。

**市長：**たしかに小さい園より大きい園の開設が望ましいと思う。駅近隣で登園、降園を行い日中過ごす保育園へはバスで送迎するという案もあるが、私はそれには反対の意見で、できるだけ皆さんの通勤動線上に保育園があった方が便利だと思っている。

子どもがたくさんいる中で育てたいという希望のある方には、既存の大きい園も利用していただきたいと考えている。

<10>保育ルームについて

**参加者：**いちかわ保育ルームに子どもが1年通っているが、3つの問題点を感じている。

- ①利用可能時間が9時~17時、延長保育無しで、一般的な保育園よりも短い
- ②お弁当とおやつ2回を保護者が持参しており負担
- ③在園中は認可保育園への申請ができない

**市長：**利用されている方が使いやすいように運営方法を改善していかないといけないと考えている。現在は利用者が少ないということなので、多くの方に利用してもらえよう、ご指摘を踏まえて検討していきたい。

<11>子どもの医療費、急病診療所について

**参加者：**市川市は子どもの医療費助成に所得制限があり、県内の他市町村より劣っている。急病診療所は、南部に住んでいるとアクセスが悪く、また診療時間が23時で終わってしまい利用しづらい。

**市長：**夜中に子どもが病気にかかったときどう対応するか、体制を考えていかなければならない。子ども医療費の所得制限については様々な議論があり、他市と比べてサポートが薄いというのは感じている。鋭意検討していく。

<12>窓口での対応、地域の子育て支援拠点について

**参加者：**LINE等の活用だけでなく、相談者の話に寄り添った上で回答をしてほしい。地域子育て支援センターは、お昼の時間に閉館する施設もあり不便と感じる。また市川子ども館は改修されたが床が冷たいので、床暖房を入れる等、利用者に配慮した運用をしてほしい。

**市長：**全てが機械やインターネットに代わるのではなく、経験豊富なスタッフによって、できるだけ有機的な、悩みに寄り沿った回答ができるよう対応をしていきたい。子育て支援のテーマは、子育ての過剰な負担、特にお母さんたちの負担を減らすことが一つのポイントであり、施設の開設時間等に対しては工夫をしていきたい。